

エコアクション 21 環境活動レポート

(取組期間：2016年9月～2017年8月)



株式会社 平野

発行日：2018年6月20日

[目次]

表紙	1
目次	2
1. 経営理念	3
2. 環境宣言	4
3. 組織の概要	5
4. 実施体制と役割分担表	6
5. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	8
6. 環境活動計画	9
7. 主な環境負荷の実績	10
8. 環境目標及びその実績	10
9. 環境活動計画の取組結果とその評価	11
10. 環境関連法規への違反・訴訟の有無	17
11. 代表者による全体評価	18

1. 経営理念

私達は常に学習に努め、社員満足と資質向上を原動力に、
今治の地に根を張った薬局業務を創造発展させ、
保険調剤&ヘルスケアで地域の皆様の QOL（生活の質）の
向上に貢献します。

保険調剤&
ヘルスケア  平野薬局



2. 環境宣言

《基本理念》

平野薬局は、環境に影響を及ぼす物質の使用・排出削減に努め、健康で環境にやさしい生活習慣の提案とその実践に役立つ商品とサービスを提供し、地域の皆様のQOL（生活の質）の向上に貢献できるように、エコ活動に積極的に取り組みます。

《基本方針》

①社員・経営陣の意識向上

一人一人がエコ活動を積極的に実施できるよう、社員教育・組織体制の整備等を通じ、社員・経営陣の地球環境保全に対する意識を高め、環境基本理念、基本方針を共有する。

経営者のネットワークを活用して、エコ活動の幅を広げる。

②薬局・薬剤師の職能を活かす

地域の皆様の相談に応じられるよう、専門的知識の習得に努める。

医薬品管理を徹底し、廃棄薬剤を減らす。

③環境関連の法を遵守する

環境に関する法律・政省令・条例等を遵守し、環境保全の向上に努める。

④省エネルギー・省資源・廃棄物の削減を推進する

電気・ガス・水道等のエネルギー使用量、紙類・レジ袋使用量等の削減に取り組み、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出総量、廃棄物等の削減に努める。

⑤グリーン購入を推進する

事務用品等の購入時には、環境への影響を考慮し、グリーン購入を心がける。

⑥地域の自然環境との調和を目指す

地域の環境保全活動、社会貢献活動等にも積極的に参加し、美しい地域環境作りに貢献する。

⑦環境啓蒙活動を展開する

環境宣言を全従業員に周知するとともに、環境情報や環境保全の重要性を積極的に社外へも公表・発信する。

H23.4.3 制定 株式会社平野 代表取締役 松田 泰幸

3.組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 平野 代表取締役 松田 泰幸

2) 所在地

平野屋薬局(本店) 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町 2-2-22
平野調剤薬局 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町 2-4-3
平野ごう薬局 〒794-0826 愛媛県今治市郷新屋敷町 3-1-42
平野グリーン薬局 〒799-1522 愛媛県今治市桜井 4-12-27
平野拝志薬局 〒799-1502 愛媛県今治市喜田村 6-5-14
平野あさくら薬局 〒799-1603 愛媛県今治市朝倉下甲 452-3
まつだ薬局 〒794-0064 愛媛県今治市小泉 4-11-11

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名：松田 泰幸

担当者連絡先：0898-32-0255

4) 事業活動の内容

保険調剤(電子薬歴導入)

薬局製剤および要指導・第一～三類医薬品の販売

在宅薬剤管理業務実施

禁煙相談等

5) 事業規模

資本金：3000 万円

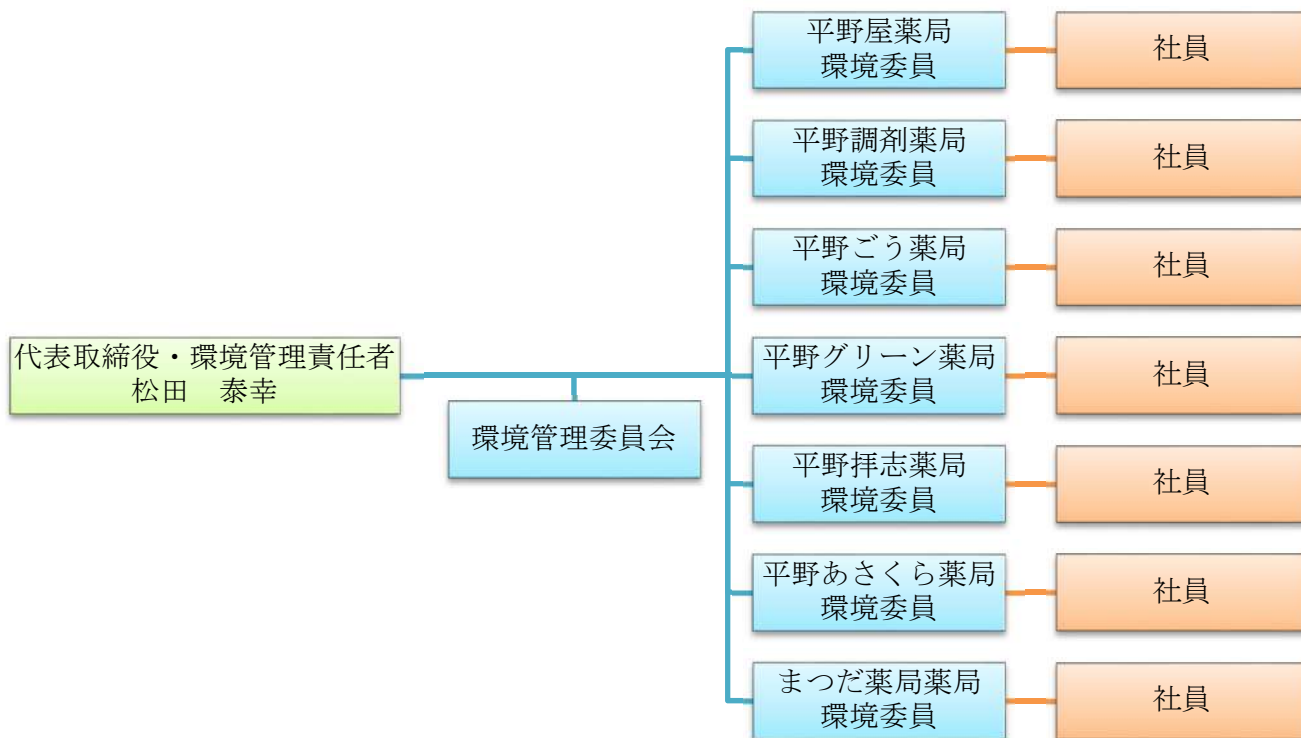
営業拠点：今治市中心に調剤を主とした薬局

従業員：薬剤師 17 名、事務 12 名、栄養士 2 名



4. 実施体制と役割分担表

1)実施体制



※まつだ薬局は2017年9月から運用開始

2) 役割分担表

<p>代表取締役 (環境経営に関する統括責任者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任(エコアクション21の全体的な取り組み状況を把握し、環境活動が円滑に推進されるように、適切な指示・評価・見直し等を行う)。 ・エコアクション21実施に必要な資源(人員・費用・時間・設備・技術等)を準備する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知を行う。 ・環境目標、環境活動計画書を承認する。 ・環境関連法規等の遵守評価の承認。 ・緊急事態への対応のための手順書の承認。 ・同友会等でのエコ活動事業に積極的に参加し、最新情報や、他社の環境への取り組み状況等を学び、社員に伝達する。 ・環境活動レポートを承認する。
<p>環境管理責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、維持・管理する。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を作成し、遵守評価を実施する。 ・環境目標、環境活動計画書を作成する。 ・環境経営システムの構築・運用状況を、定期的に代表者・社員に報告する。 ・緊急事態への対応のための手順書を作成し、施行・訓練を実施し、記録を作成する。
<p>環境管理委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21の事務局 ・定期的を開催し、各店舗での実施状況を共有し、改善策、必要な措置等について話し合う。 ・データの集計等を行う(環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施、) ・環境管理委員会の取り決め内容を踏まえて、環境活動レポートを作成し、公開する(事務所に備付けと地域事務局への送付)。
<p>各薬局 環境委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各店舗での環境活動が円滑に推進されるように、管理、統括、情報の伝達等を行う(環境方針の周知、環境活動計画の実施及び達成状況の報告)。 ・環境管理委員会に出席し、担当店舗の情報を提供する。 ・各店舗の問題点を把握し、是正、予防措置を実施する。
<p>社員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針への理解と環境への取り組みの重要性を理解し、環境システムについて問題点、改善策等を各環境委員に報告する。 ・グループウェア等で、環境管理委員会の動向を把握する。 ・エコ検定を受験したり、日ごろからエコに対して関心を持ち、エコに対する知識を深める。 ・環境経営システムの自主的・積極的な参加の実践。

5. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発効日

1) 対象範囲(認証・登録範囲)

平野屋薬局、平野調剤薬局、平野八町薬局、平野ごう薬局、平野グリーン薬局、平野拝志薬局、平野あさくら薬局

活動は、薬局既存の組織体制を活用しながら、店舗ごとに活動単位を構成している。各店舗に現場担当者“環境委員”を配置し、経営指針会議、環境管理委員会、グループウェアでの意見交換等を通じ、コミュニケーションを図っている。それぞれの薬局の責任者である薬局長とは朝会等を通じて情報の伝達を行い、活動の連携・強化を図る。各社員に対しても、グループウェアを通じて随時情報を提供し、意見交換を行う。

2) 対象範囲外

まつだ薬局(2016年12月に他組織より統合。2017年9月から運用スタート、2017年9月からの環境活動レポートで活動対象に追加。)

3) レポートの対象期間及び発効日

レポートの対象期間 : 2016年9月～2017年8月

レポートの発効日 : 2018年6月30日

4) レポートの対象期間変更並びに本レポート対象期間における対象範囲について

これまで、環境レポート対象期間を該当年度4月から翌年3月までとしていたが、組織本体である会社の期初めと相違があり目標設定などが複雑になっていた。組織活動との整合性をとるため、会社の期初めに合わせて環境活動レポートの対象期間を前年9月から該当年度8月までに変更する。このため、本レポート対象期間を2016年9月～2017年8月とし、前年度の環境レポート対象期間と時期が重なることとなる。また対象期間変更に伴い、基準年の実績値を2015年9月～2016年8月の範囲とする。

本レポートにおいては、2017年8月末に閉局した平野八町薬局は対象範囲とする。2016年12月に他組織より参入したまつだ薬局は本レポートの対象とせず、モニタリングを行い、2017年9月からの環境活動レポートにおいて活動対象に組み込む。このため、**3. 組織の概要並びに 4.1) 実施体制**と本レポートの対象範囲とは相違している。

6. 環境活動計画

1) 二酸化炭素排出量の低減

- ・夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る。
- ・空調の適温化に努める。(医療機関であるため、来局者が不快でない温度設定。また夏場高温になる日中の適正な医薬品温度管理)
- ・片づけを始める前に冷暖房を停止する。(装置内の熱を有効利用)
- ・ガソリンの使用量を削減する。(急発進、急ブレーキを防ぐ。訪問薬剤管理指導業務の効率化)

2) 廃棄物排出量の削減

- ・グループウェア・メールの利用等、文書の電子化に取り組む。
- ・メモ用紙などは裏紙を使用し、封筒の再利用等を行い紙資源を節約する。
- ・薬品購入の包装単位を検討し、廃棄する空箱・段ボール等の量を減らす。
- ・適正な在庫管理により、廃棄薬を減らす。

3) 節水

- ・節水ポスターを掲示し、手洗い、洗い物、歯磨き等において日常的に節水を励行する。

4) グリーン購入の推進

- ・新しい事務用品を購入する際にはグリーン製品があるか確認し、優先的に購入する。
- ・グリーン製品に切り替えた消耗品は継続して購入する。

5) 組織本来の取り組み

- ・在宅訪問した際にエコに関するアドバイスをする。
- ・医薬便りにエコに関するページを毎月掲載する。
- ・平野健康まつりでエコブースを設置し(株)平野での環境への取り組みや、残薬が環境に与える影響について知ってもらう。

6) レジ袋の削減

- ・包装の簡易化やエコバック持参の呼び掛けを行なう。

7) エコピープルの育成

- ・社員全員が環境社会検定試験(eco 検定)の合格を目指す。

8) 防災対応

- ・防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練を実施する。
- ・緊急時連絡網を作成し、非常時の訓練を行う。

9) その他、薬局や家庭での個人の取り組み

- ・マイバックやマイ箸を携帯する。
- ・薬局や各家庭でのグリーンカーテンを設置する。

7. 主な環境負荷の実績

項目	単位	目標	2017 年度実績	
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	604841.45	63479.98 (+5%)	
廃棄物排出量	Kg	5406.9	5487.1 (+1%)	
(リサイクル率)	%	67%	71%)	
水使用量	ℓ	372	386 (+4%)	

※廃棄物排出量、水使用量の目標値は2016年度（2015年9月～2016年8月）の実績。

8. 環境目標及びその実績

	基準年 (2016年度)	2017年度		2018年度	2019年度
		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量 kg - CO2※	60589.1	60481.45	63479.95 (+5%)	60580.6	60679.97
購入電力 kWh	75936	74117.28 (-2%)	78991 (+4%)	73387 (-2%)	73387 (-2%)
ガソリン ℓ	4274.6	4360.1 (+2%以内)	4187.79 (-2%)	4402.8 (+3%以内)	4445.6 (+4%以内)
灯油 ℓ	100	100 (±0)	140 (+40%)	100 (±0)	100 (±0)
ガス m ³	3	3 (±0)	5 (+67%)	3 (±0)	3 (±0)
廃棄物排出量 kg	5406.9	5406.9	5487.1 (+1%)	5406.9	5406.9
燃えるごみ	1005.7	1005.7	938 (-7%)	1005.7	1005.7
燃えないごみ	798.4	798.4	633.1	798.4	798.4

				(-21%)			
	資源ごみ (リサイクル率)	3602.8 (67%)	3602.8 (67%)	3916 (71%)	3602.8 (67%)	3602.8 (67%)	
	水使用量 ℓ	372	372 (±0)	386 (+4%)	372 (±0)	372 (±0)	
	グリーン購買	環境活動計画による取り組み				→ 13 ページ	
	組織本来の取組	環境活動計画による取り組み				→ 13 ページ	

※二酸化炭素排出量の間目標が毎年増加となっているのは、在宅部門の業務拡大のためガソリン使用量が毎年増加していくと想定しているため。

※資源ごみの(%)は全体の廃棄物排出量に対して占める割合。

9. 環境活動計画及び取組結果とその評価

1) 二酸化炭素排出量の低減

取組項目	評価
数値目標	△
夜間・休日はパソコン、プリンター等の主電源 off	○
空調の適温化、夏期休日の医薬品温度管理	○
準備・片づけ時の不要な電気・エアコン off	△
車の急発進、急ブレーキを防ぐ	○
訪問薬剤管理指導業務の効率化	○

<取組結果と評価>

購入電力量の目標は基準年に対して-2%だったが、実績は+4%となった。全体としては2016年4月から3つの薬局で開局時間がこれまでより長くなったことが影響していると考えられる。しかし、開局時間に変化のない薬局でも電気使用量が増加していたので、次年度はタイムマネジメント表の見直しや改めてチェックと対策をしっかりと行う。エアコンの簡易点検は担当者を決めて行った。業者に確認し、必要がある場合にフィルター清掃を行った。

ガソリン使用量については、患者宅に薬剤師が赴く訪問薬剤管理指導の契約件数増加に伴い、前年比+2%以内に抑えることを目標とした。業務の効率化や他職種との連携で不要な訪問回数が減少したことで、目標を達成することができた。



②薬局での取り組み

	単位	目標	実績
購入電力	kWh	73387	78268
灯油使用量	リットル	100	140
ガス使用量	m ³	4	4
水	m ³	353	

・電気使用量

- 目標 昨年度よりマイナス2%
- 実績 昨年度プラス1%

屋・八・あ 開局時間増のため？

全薬局で昨年度より増加

→タイムマネジメント表を改めて確認してください

2) 廃棄物排出量の削減

取組項目	評価
数値目標	○
社内ネット、裏紙、使用済み封筒使用による紙資源節約	○
医薬品購入の包装単位を検討し、廃棄する空箱の削減	○
適正な在庫管理により、廃棄薬の削減	△

年3回の全社員が集まる「チェックの会」で進捗状況を報告

<取組結果と評価>

裏紙利用等をすることによって廃棄物の総排出量を増やさないことと、ゴミ分別の徹底により全体に占める資源化ゴミの割合を増やすことを目標としていた。業務の中で習慣化できており、廃棄物排出の全体量は微増したが、リサイクル率については目標を達成できた。個人情報への扱いについては引き続き十分に注意する。

廃棄薬の削減については、社内ネットを利用して不動態在庫の交換や購入量の見直しなどを行い、期限切れ等で廃棄する薬剤の削減に努めた。ただし、これまで比較して記録する仕組みが整っておらず、経年の廃棄量を把握できていなかった。2017年4月より全体の薬剤廃棄量を統計する仕組みを作り、データを蓄積していている。

資源化のため、ゴミの分別は段ボール・紙箱・紙類・ナイロン・アルミ袋・ボトル・PTPシート（薬の入っているシート）・ビンなど細かく分別。





3) 水使用量削減

取組項目	評価
数値目標	×
漏水の確認	○
ポスター掲示による節水励行	△

<取組結果と評価>

全薬局において漏水はなかったが、取り組みに対するチェックが甘く数値目標未達の原因が分からなかった。1点、手洗いの蛇口が閉め忘れやすい構造になっているのでポスター等で対応した。

4) グリーン購入の推進について

取組項目	評価
新しい事務用品購入時はグリーン製品を優先的に購入	—
14品目を引き続き購入	○

<取組結果と評価>

事務用品や備品など、すでにグリーン購入対象製品へ切り替えた消耗品 14品目を引き続き購入した。新たな事務用品のグリーン購入対象製品へ切り替えた品目はなかった。

5) 組織本来の取り組みについて

取組項目	評価
在宅訪問の際にエコに関するアドバイス	△
医薬だよりにエコに関するページを毎月掲載	○
医薬だよりやブログを通じたエコの普及	△

※ 環境目標は「医薬だよりにエコに関するページを毎月掲載」にて評価する。

<取組結果と評価>

毎月来局患者様向けに発行している医薬情報誌「医薬だより」のエココーナーに、毎月エコに関する記事の掲載を継続し、環境への意識の啓発や家庭でできるエコ活動の紹介、災害への備えの啓発を行った。環境活動に取り組んでいる外部の方からもアドバイスを受け、エコ記事の幅が広がった。ブログでの情報発信はあまりできなかった。毎年秋に開催している「平野健康まつり」のエコブースでは、今治市の特産品であるタオルを使って家庭に簡単に作れる防災ずきんを展示した。また患者様に対して、飲み忘れて家庭に眠っているお薬を「かかりつけ薬局」で整理する残薬解消を各薬局で行っている。しかし、すべての実績を記録に残す仕組みがない。

11月には東京商工会議所が主催する「eco 検定アワード」ユニット部門で優秀賞を頂き、授賞式において薬局で出来るエコの取り組みを紹介した。



【医薬だより掲載項目】

-2016年-

- 9月：省エネルギーラベリング制度
- 10月：節電タップを上手に使う
- 11月：防災エコガラス
- 12月：Eco 検定アワード 優秀賞受賞！

-2017年-

- 1月：エアコンの設定温度と湿度
- 2月：キッチンでできるエコ
～使わない野菜クズを再利用～
- 3月：フードバンク
- 4月：代替フロン削減へ
- 5月：パッドで簡易トイレ
- 6月：家庭エコ診断制度とは
- 7月：30・10運動
- 8月：紙1枚で袋やコップに
～暮らしに便利なカッター折り～



6) レジ袋の削減

取組項目	評価
包装簡易化やエコバック持参の呼びかけ	○

<取組結果と評価>

包装の簡易化やエコバック持参の呼びかけを継続して行った。来局者の方からも「今日は袋があるから」と声をかけて頂けるようになり、レジ袋削減の意識が定着している。

7) エコピープルの育成について

取組項目	評価
社員全員が eco 検定の合格を目指す	○

<取組結果と評価>

昨年入社 of 社員がエコ検定を受験し合格。社員一人ひとりがエコへの関心を高め、知識を身につけるため、現在 24 名が合格している。毎月の医薬だよりでの記事掲載のため継続してエコの知識を身につけ、発信することができている。

8) 防災対応について

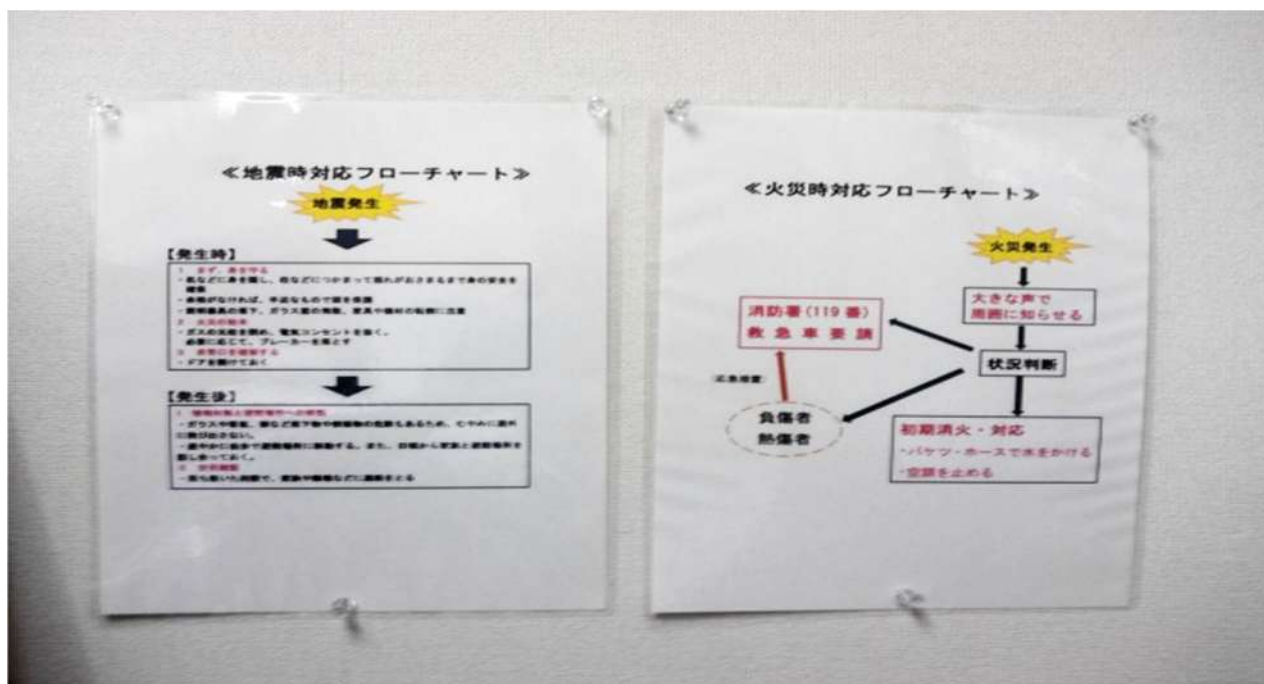
取組項目	評価
防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練実施	○
緊急連絡網を作成し、非常時の訓練実施	○

<取組結果と評価>

9 月に防災・減災対応マニュアルにもとづいて防災訓練を各薬局で実施し、避難の際の動線の妨げになるものがないかの確認や水害を想定して機器類の設置位置を変更するなどの対応を行った。緊急連絡網を用いて非常時の安否確認の手順も確認を行った。

地震や近年全国で多発している集中豪雨などの水害に対応し、早急に医薬品の供給を再開できるよう、2017 年度は作成途中になっている BCP を完成させ定期的に見直さなければならない。

また、毎年今治市中央消防署にて実施している救命講習は日程の都合上、社員 2 名と薬学部実習生 2 名が参加し、AED の使用法や心臓マッサージなど緊急時の対応を学んだ。来年以降も継続して実施し、緊急時の対応に役立てたい。



火災、地震発生対応フローチャート

9) その他、薬局や家庭での個人の取り組みについて

取組項目	評価
マイバックやマイ箸を携帯	○
薬局や各家庭でのグリーンカーテン設置	△

<取組結果と評価>

社外での研修会などの際には車を乗り合わせるなどしてガソリン使用量を抑えるよう取り組んでいる。またマイバック、マイ箸の利用は社員全員が行えている。夏のグリーンカーテンは薬局では設置しなかったが、各家庭において家庭菜園をかねてグリーンカーテンを設置した。

10.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

以下の一覧（抜粋）の通り、当事業所に適用される関連法規等の遵守状況を点検した結果、違反・訴訟等はありませんでした。今後も環境関連法規と社会的欲求事項を進取し、適時改善を行なって更なる環境保全活動の制度の向上を図ってまいります。

	法令等の名称	該当する 条項等	適用される施設・項目	遵守状況
基本 ・ 一般	○環境基本法	第8条	全体事項	遵守
	○地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	全体事項	遵守
	○労働安全衛生法	第3条	全体事項	遵守
	○環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	第4条	全体事項	遵守
大気	○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第5条 第41条	エアコン、冷蔵庫	遵守
廃棄物 ・ リサイクル	○循環型社会形成推進基本法 ○廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃)	第11条 第12条の2 第12条の5 第12条の5 施行令8条	使用済み注射針、吸入容器 ※上記特別管理廃棄物は、今治薬剤師会の規則の元、適切に管理・運搬し、カモ調剤薬局で一括して処分。	遵守
	○資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	パソコンや携帯電話などはリサイクル業者にて廃棄処分	遵守
	○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	TV、冷蔵庫、エアコン	遵守
	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	事務用品全般、レジ袋、医薬便りの印刷、トイレットペーパー等	遵守
	○使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条 第8条	社用車	遵守
	○容器包装リサイクル法	第11条	薬袋、レジ袋	遵守
	○エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	第4条	本期間では該当なし	遵守
保 全 の 環 境	愛媛県環境基本条例	第6条	全体事項	遵守
	愛媛県自然環境保全条例	第2条	全体事項	遵守
	愛媛県環境影響評価条例	第3条	全体事項	遵守
策 対 害 公	愛媛県公害防止条約	第3条	全体事項	遵守
保 全 の 環 境	今治市環境基本条例	第5条	全体事項	遵守
	今治市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第5条	全体事項	遵守
		第9条	レジ袋削減	遵守

11.代表者による全体評価

この間、弊社の環境経営について特徴的な二つの出来事があった。

一つは2016年9月四国3大学(愛媛大学、鳴門教育大学、香川大学)研究者の訪問があり「中小企業における環境経営」に関する合同研究のヒアリングを受けたこと。もう一つは、11月にEco検定アワード2016エコユニット部門の優秀賞を受賞したことであった。どちらも、思いがけない評価を頂いて社内ではむしろ驚いたのが正直なところであった。日頃の業務の一環として、担当する社員を中心に取り組んでいることが、研究者や評価機関などの外部から高い評価を頂いたことに自信をもって、更に高いレベルで応えていく責任を感じた次第である。

薬局における日常業務を振り返ると、日々積み重なる医療用医薬品の箱類、段ボールや分包紙、ビン類、PTP残さなどが混在したまま医療用廃棄物として処理されていたことに心を痛めている。また、時に患者様が持ち込む残薬の多さにその対策の必要性を痛感している。

また、地球環境の悪化は深刻で、地域にあって事業活動を行うものの責任として出来るだけ環境負荷を減らす努力が求められると感じている。地域の他の薬局や中小企業において、弊社の環境活動が波及していければ良いし、更に「医薬だより」での情報発信などによって地域の住民の皆様の環境への意識向上、実際に生活での環境改善につながっていければと願っている。

今回の環境レポート作成に当たって、目標の達成度は各項目で差異はあったが、少しずつ前に進めるため全社員でPDCAを回していきたい。

1

2017年8月31日
株式会社平野
平野 啓三

¹ 2017年9月1日をもって、平野啓三から松田泰幸へ代表取締役交代。本レポートの「代表者による評価」はレポート対象期間中に代表者であった平野啓三が執筆。